

平成21年度 特定非営利活動法人 NPOもがみ 事業報告書

自：平成21年4月1日

至：平成22年3月31日

I 平成21年度の成果と総括

ふるさと雇用再生特別基金事業による委託事業を2つ受託した。

1つは、新庄市との契約による「地域づくり支援事業」であり、2つめは、山形県からの「NPOアドバイザー派遣事業」業務委託である。

このことによりNPOもがみは、雇用契約を結んだ常勤の事業専任者を初めてむかえるとともに、法人の目的達成に向けて大きな力を得ることができた。

NPOが社会的弱者や地域課題の当事者の自立等をめざす活動を地道に続けてきている中で、これらの事業を当法人が受託し事業の成果を導いたことで、インパクトを与えることができた。

第1には、地方部におけるNPO中間支援組織に期待される機能を明らかにすることができたこと、第2には地域ニーズが把握できたこと、第3には地域で地べたに張り付くように黙々と続けている地域のための活動の発掘ができたこと、などに代表される。

今後、ふるさと雇用関連の事業委託が全国的に展開されたと思われることから数々の乗り越えなければならぬ諸課題が顕在化され、事例研究や政策提言などによる動きが活発化していくものと予想される。

今年度も新庄市からは、新庄市エコロジーガーデン内事務室の一部を当法人の事務室として使用許可をいただき、活動を力強く展開することができた。

II 自主事業

1 市民活動よろず相談事業

当法人の行う最上地域におけるNPO支援活動の一環として、市民活動よろず相談を行った。

行政との役割分担では、相談場所の提供とチラシや広報等での周知については新庄市が担当し、相談対応は当法人理事及び平成21年度NPOアドバイザー派遣事業最上地域担当者が当たった。なお相談内容等については相互の共有化を図るため、「市民活動よろず相談報告書」にて記録をとり、担当課長はじめ所轄での状況把握に努め、よろず相談の可視化を図った。

- ・会 場:新庄市民プラザ市民交流ひろば「ぶらっと」
- ・開 催 日:毎月第2・第4水曜日の午後1時～4時
- ・開催回数:19回
- ・来訪者数:40名
- ・属 性:自治体6名 個人15名 団体19団体 その他なし
- ・男 女 別:男11名 女29名
- ・相談件数:27件
- ・主な内容:①設立相談に関する事:
 設立趣意書、仲間と支援者、本来事業とその他事業の区別、
 ②行政や市民との協働に関する評価に関する事:評価・検証・改善等、
 ③組織運営に関する事:
 スタッフが抱える役員との軋轢問題、
 役員や事務局長・スタッフのモチベーション維持相談、
 ④報酬及び給与に関する事:
 理事長の高額と思える報酬問題、役員報酬とスタッフ給与
 ⑤事業マネジメントに関する事:
 助成金情報及びやまがた社会貢献基金 等
- ・特 徴:①相談者の多くは、複数回の訪問である
 ②組織内部の人間関係が活動意欲の有無に影響している
 ③よろず相談自体が情報交換の場の提供になっている
- ・成 果:①NPO法人の設立認証
 ②やまがた社会貢献基金の獲得 等
- *担 当:沼野、伊東

2 1%支援制度に関する勉強会

昨年度に引き続き、新庄最上地域に合うシステムの研究検討を行う予定であったが、実施できなかった。

3 NPO活動推進フォーラムやまがた大会実行委員会への参画

*当法人は、準備委員会から参画し、大会趣旨についての提言を行うと共に、第2分科会を担当し、司会進行をつとめた。

- ・期 日:平成21年11月10日～11日
- ・会 場:山形テルサ
- ・テーマ:未来に広がる新たな地域社会づくり

・趣 旨：NPOや自治体との関わりにとどまらず、多様な主体との協働を模索しながら、企業の社会貢献活動という新たな切り口も加え、未来につながるNPO活動の活性化や協働推進のための方策について考える。また、NPOや自治体が直面している諸課題について全国のNPO関係者、企業、県民、自治体職員等が議論を深め解決の糸口を探ること。

・内 容：基調講演とパネルディスカッション及び分科会

○基調講演：講師 川北秀人氏

「企業・自治体とNPOとの協働は、どう進んだか、どう進めるか」

○パネルディスカッション：

パネリスト 川北秀人氏

重徳和彦氏…内閣府行政刷新会議事務局参事官補佐

小川理子氏…パナソニック

齋藤 緑氏…(特)あらた 代表理事

出川真也氏…(特)里の自然文化共育研究所専務理事

コーディネーター：渋川智明氏(東北公益文科大学公益学部長)

○分科会：

第1分科会「NPO支援センターが目指すもの」

～NPO支援センターがこれから果たすべき役割を考える～

第2分科会「コミュニティとNPOとの連携に向けた中間支援組織の役割」

～地縁と志縁との連携に必要な鍵は～

第3分科会「企業の社会貢献活動と行政、NPOとのパートナーシップ」

～企業とNPOの give and takeな関係～

第4分科会「基礎から学ぶNPOと行政の協働」

～誰のために協働するのか・・・

明日の仕事に活かせる理念と実践～

第5分科会「NPOと若者が拓く 地域社会の未来」

～若者と語る！若者の力を地域課題の解決に活かすために～

・参加者総数：532名

□第2分科会(NPOもがみ担当)

・コーディネーター：櫻井 常矢 氏(高崎経済大学地域づくり学科准教授)

・事例報告者：

高橋由和氏(特 きらりよしじまネットワーク事務局長)

高橋敏彦氏(特 いわてNPO-NETサポート顧問兼主席研究員)

横澤則子氏(岩手県住田町 町づくり推進課主査)

・まとめ：3つの課題（①コミュニティガバナンスに中間支援組織がどう関わっていくか ②コミュニティに中間支援組織がどう関わっていくか ③行政が深く入り込んでいるコミュニティに中間支援組織は関われるか）への対応について、先進的な取り組みを行っている3者から事例報告を受けると共に議論を深めた。

*担当：長沢、伊東、沼野、永井、阿部

4 活動団体交流会「もがみが動く もがみが変わる 2010」の開催

・目的：最上地域で活動している団体間の交流を図ることにより、情報交換の場を設け相互理解や連携の足がかりをつくること。加えて、最上地域のNPOに活動メニューによる食材を提供してもらうことで交流を深め、なごやかで温かい関係構築の一助とすること。

・期日：平成22年2月13日（土）午後0時30分から4時

・会場：エコロジーガーデン交流室

・参加者数：50名

・食の提供者：①高橋保広さん（ネットワーク農縁 代表、おにぎりと納豆汁）

②阿部進さん（特）四季の学校谷口事務局長、そば粉使用餃子）

③庄司明淑さん（明珍キムチ）

・コーディネーター：加藤哲夫氏（せんだい・みやぎNPOセンター代表理事）

*担当：伊東、沼野、井上

5 他団体との交流連携・共催・後援など

■交流連携

◇ぷらっと主催

①市民活動団体との意見交換会へ出席

・期日：平成21年9月7日（月）

・会場：新庄市民プラザ 研修室

②市民活動フェスタへの出展参加

・期日：平成21年12月12日（土）

・会場：ゆめりあ 花と緑の交流広場

・内容：NPOもがみの活動紹介と募集

NPO啓発ちらしの配布、クイズ、フリーマーケット等で参加

◇平成21年度NPO中間支援機能強化事業への参画

・目的：公益活動を支え、多様な主体との協働による地域社会づくりを、

■後援

◇JICA

- ・テーマ：地域から国際貢献を考える研修会
- ・期日：平成21年10月20日（火）
- ・会場：新庄信用金庫本店会議室
- ・参加者数：25名

■推薦

◇キリン福祉財団公募助成事業へのNPO推薦

- ・分野：地域における子育てに関わるボランティア活動
- ・結果：不採択（残念）

■他団体の総会等への出席

◇（特）くれよんはうす

- ・期日：平成21年5月15日（火）
- ・会場：くれよんはうす

◇（特）はぐくみ保育園 NPO認証お祝いの会

- ・期日：平成22年3月27日（土）
- ・会場：雪の里情報館

◇（特）バイオマスもがみの会

- ・期日：平成21年5月28日（金）
- ・会場：レキシントン

◇教育ボランティア最上支部

- ・期日：平成21年5月22日（金）
- ・会場：新庄ニューグランドホテル

6 その他

■研修会へ出席

◇NPO法人会計基準策定プロジェクト全国キャラバン in みやぎ

「みんなでつくるNPO法人会計基準～とことん聞きます！みんなの意見～」
へ参加

- ・日時：平成21年12月8日（火）13：30～16：00
- ・会場：みやぎNPOプラザ交流サロン
- ・主催：NPO法人会計基準協議会
- ・趣旨：NPO法人会計基準策定委員会は、NPO法人会計基準協議会からの諮問を受け「望ましいNPO法人の会計基準とは何か」について検討を行っている。これまでに議論された論点に基づき、全国でその中間報告

NPO中間支援組織のネットワークにより支援していく体制を整備する。また、経理・労務管理等の知識を持つNPOアドバイザーや様々な分野の専門家と連絡しながら中間支援機能を強化していくこと。

- ・概要：以下の3点（山形県より）
 - (1) NPO中間支援組織の全県的なネットワークによる中間支援機能の強化
 - (2) NPOアドバイザーによる運営支援と地域ネットワーク化の推進
 - (3) 専門家とのネットワーク化の推進
- ・受託団体：NPOパワーアップコンソーシアム
構成団体：(特) 公益のふるさと創り鶴岡・おきたまラジオNPOセンター・山形ふるさと企画舎・AISOHO企業組合
- ・参加団体：華酒田ネット・(特) NPOもがみ・(特) やまがたの公益活動を応援する会アミル・新庄市民活動交流ひろば「ぷらっと」・
(特) 山形創造NPO支援ネットワーク・(特) Yamagata 1
・(特) 長井まちづくりNPOセンター・山形県
- ・開催期日：

第1回…平成21年	9月29日	山形市山形県産業創造支援センター
第2回…平成21年	11月18日	新庄市市民文化会館
第3回…平成22年	2月26日	鶴岡市勤労者会館
第4回…平成22年	3月3日	アクティ米沢
- ・課題：①NPO中間支援機能とは何かについての参加者間の共通認識と合意を得るにいたらなかった。
②参加者の途中離脱がみられた。
- ・成果：①県内のNPO中間支援活動を行っている団体等の連携がとれ、どの地域でどの団体がどのような活動をしているのかがわかった。
②基本的な期待される支援機能の認識と把握について各団体の活動内容等により異なることがわかった。
③当法人には最上地域での支援機能の充実がさらに一層求められていることを認識し確認できた。

*担当：伊東、沼野、菅

■共催

◇グランドワーク新庄

- ・テーマ：夏休み昆虫セミナー「ちびっこ寺子屋」
- ・期日：平成21年7月25日（土）
- ・会場：エコロジーガーデン
- ・参加者数：親子20名

を行うとともにみんなの意見をとことん聞き、会計基準作りに生かしていくこと。NPO側からの提言となる。

・内容：

第1部

中間報告…瀧谷 和隆 氏

(策定委員・NPO会計税務専門家ネットワーク事務局長)

第2部

意見交換ワークショップ

…大久保朝江氏、加藤哲夫氏、成田由加里氏、平野由紀子氏

・論点：以下9つの論点

- ①小規模法人に対する配慮
- ②現物寄付の取り扱い
- ③無償による施設の提供
- ④ボランティアの取り扱い
- ⑤使途等に制約のある寄付の受入
- ⑥収支計算書の意味するもの
- ⑦財産目録
- ⑧区分整理
- ⑨事業費と管理費の区分

・その他：①山形県では、この基準が決まれば採用する意向を示した。

県はNPO会計基準策定プロジェクトオブザーバー登録している。

②本協議会メンバー団体は、全国65団体(2009.11.14現在)

■参加協力

◇最上の元氣研究所主催事業への参加協力

- ・期日：平成22年3月7日(日)午後2時から5時
- ・会場：ホール・アベージュ
- ・テーマ：金が無いなら元氣を出せ!
- ・講師：島 康子氏(あおぞら組 組長)ほか

■新庄市エコロジーガーデンの活用と認知

◇多くの市民に知っていただくために、当法人主催等の研修の会場として利活用し研修参加者や来客に対し、自主的積極的に案内ボランティアを行った。

新庄市エコロジーガーデンは市民に十分に知られているとは言い難い。そのため、今後、地域の宝としての存在と魅力を発信し、市民に認知活用される必要がある。

Ⅲ 受託事業

1 事業名：地域づくり支援事業（山形県ふるさと雇用再生特別基金事業）

- ・委託先：新庄市
- ・雇用者：1名
- ・駐在場所：新庄市民プラザ市民交流ひろば「ぶらっと」内
- ・事業の内容：
 - (1) 地域資源調査報告書の発行
 - (2) 地域づくりに関わる支援業務

(1) 地域資源調査報告書の発行

概要：新庄市における215地区の区長に「町内会等の活動に関する調査」を実施した。

(調査期間：平成21年8月21日～12月3日、回答率：86.5%)

ここでは町内会の組織、役員、財務、事業や活動の内容、住民構成、地域特性など町内の実態や課題を明らかにした。

また、町内の自慢や宝物等（こども達に伝えたいもの）といった地域資源の評価や活用への取り組みなどの現状を冊子にまとめた。

①第1次調査「町内会等の活動に関する調査」の集計及び分析

- ・調査票の作成

新庄市における地域づくり推進担当者との検討を重ねて、「町内会等の活動に関する調査」（アンケート）を作成した。

- ・「町内会等の活動に関する調査」の集計及び分析

回収された調査票をもとに集計を行い、7地区ブロックごとの比較や調査全体のまとめ及び分析を行った。

報告書の内容として、集計結果をグラフ化するなどして可視化しわかりやすいものになるように工夫配慮した。

②第2次調査「聞き取り調査」の実施

- ・聞き取り調査町内の抽出

第1次調査の結果から浮かび上がった特徴的な町内会及び新庄市が注目している町内会の中から、33町内会を聞き取り調査対象として抽出選定した。

- ・聞き取り調査

専任の調査員（当事業の雇用者）が各区長宅を訪問し、地域の活動や資源の聞き取りを行うと共に写真による記録を撮った。

- ・聞き取り調査のまとめ

「私たちの町自慢」「私たちの町の宝物」「私たちの町の課題」の3つをそれぞれの項目として整理し、報告書内容としてまとめた。

③地域づくり全般に関わる調査

・ 広く地域づくりに関わる活動組織や新庄市内の商店街の取り組み等、代表的な7例を報告書内容としてまとめた。

④市街地における高齢化率マップの作成

・ 市街地における高齢化率（65歳以上の人口比率）を調査し、人口比率の区分毎（色分け）のマップを報告書内容として作成した。

また、中心市街地の区割りも付加した。（平成22年3月最新版）

（2）地域づくりに関わる支援業務

実際の地域づくりに関わる話し合いや取り組みの現場に参加し、アドバイスや協力を行った。

①地域座談会等への参加

・ 地域で開催された懇談会などに参加し、地域づくり等についての意見交換を行った。

②地域行事への参加と協力

・ 地域住民と一緒に地域行事の開催等に携わった。

・ 成果：①ひと・もの・こと（文化、行事、風習など）の広範囲にわたる地域資源、地域の宝の発掘ができた。

②地域づくりに向けたコミュニティの実態と課題を明らかにすることができた。

③本事業で浮き彫りにされた地域課題は、地域も行政も共に連携することで課題解決を図る協働の仕組みづくりのための基礎資料となるものである。

④多くの区長が自身の住む地域の良さに気づき、大切に考えていることが明らかにされた。

・ 課題：①本事業での地域資源調査対象者は区長のため、区長の視点や認識に依存するものである。そのため、この視点を乗り越えての地域資源発掘はむずかしかった。

②今後さらに検討を加え、ここでは発掘されなかった多くの地域資源

や資産等を見いだせる可能性がある。

③地域外の人びとの視点を加えることで地域資源の再発見や存在を認識することも必要である。

④新庄市では市内を7つのブロックに分けているが、総合計画や都市マスタープランにおける地区別計画との関連性や整合性は薄い。

⑤ブロックごとによる地域特性を浮き彫りにすることは難しかった。

⑥7ブロックの区分けの再検討が必要である。

④地区紹介の掲載写真について公民館の写真が多くなり「ひと・こと」の資源（宝物）や動き等を載せることが不十分だった。

*担当：長沢、沼野、田澤

2 山形県NPOアドバイザー派遣事業 (山形県ふるさと雇用再生特別基金事業)

*本事業に応募し、採択されたものである。

- ・委託先：山形県
- ・雇用者：1名
- ・駐在場所：新庄市エコロジーガーデン内（特）NPOもがみ事務室
- ・事業の目的：最上地域において、労務管理、会計処理など組織運営上の課題を抱え、本来の活動を安定的に遂行することが困難なNPOに対して、経理・労務管理等の知識を持つ者をNPOアドバイザーとして派遣し、総務・会計事務処理能力のスキルアップを図ること。
- ・事業の内容：
 - (1) NPOに対する指導・助言
 - (2) NPO実態調査
 - (3) NPO活動環境の向上支援
- ・業務内容は次のとおり。
 - (1) NPOに対する指導・助言
 - ①アドバイザーの研修参加による資質向上
雇用されたNPOアドバイザーに対して、当法人は計画的に研修等を行い、NPOに関する理解と認識を深め、基礎的な知識を備えた。
その他に、知識習得に向け他団体が主催する研修会や講座等にも積極的に参加を促し、アドバイザーの資質向上を図った。
○当法人の研修指導：計画的、随時、適宜実施
○外部研修への参加： 6月…1回
7月…1回
9月…1回

10月…5回	
11月…2回	
12月…1回	
2月…1回	
3月…3回	計 15回

②市民活動団体の把握

NPOアドバイザーが最上地域の行政機関やNPO法人を訪問し、本事業の趣旨の理解を図るとともに、地域内に存在する任意団体の情報提供等を依頼した。

情報収集を行うことにより、最上地域における本事業の対象となる市民活動団体等の173団体を把握した。

③アドバイザーニーズの把握

実態調査や電話・訪問によるヒアリングを通し、労務管理や会計処理などをはじめとする組織運営上の課題を把握した。

④会計講座等の研修会の開催

総務関係では会計経理、勘定科目の整理、伝票処理、複式簿記及び決算処理等、労務関係では就業規則の整備助言等を行った。これらの実施に伴いNPOの総務・会計事務処理能力のスキルアップを図った。

第1回：「NPO初級会計講座」	21・11・12	(木)
第2回：「年末調整講座1」	21・12・1	(火)
第3回：「年末調整講座2」	21・12・14	(月)
第4回：「年末調整講座3」	21・12・23	(水)
第5回：「年末調整4提出調書」	22・1・25	(月)
第6回：「資金調達の極意」	22・3・12	(金)
「市民活動よろず相談」	21・6・10	(水)
	6・24	(水)
	7・8	(水)
	7・22	(水)
	8・12	(水)

⑤団体毎の訪問記録作成と支援ニーズの整理

⑥税の申告に向けての実務を実際に指導し助言（上記④に含む）

(2) NPO実態調査

NPO中間支援機能強化のための基礎資料とするため、最上地域において、NPOの活動実態調査や訪問や電話によるヒアリングを実施するなどし、個々のNPOが抱える具体的な課題を把握し、取りまとめを行った。

業務内容は次のとおり。

①NPO活動実態調査票を172団体に送付して調査を実施し、集計分析を行った。

②調査を通じて、NPOアドバイザーの派遣要望を把握した。

③NPO会計講座等を開催し、会計の事務処理の現状及び労務管理の実態を把握した。

加えて、個々の団体への相談助言対応を行った。また、新庄市市民交流広場「ぷらっと」でのNPOよろず相談においても対応した。

④課題を整理し、NPO中間支援機能強化のための基礎資料とした。

(3) NPO活動環境の向上支援

最上地域において、研修会等を通じた指導や地域内のNPOのネットワーク化の推進につなげるための交流懇談会を開催するなど、NPOの活動環境の向上に資する業務を行った。

また、県内におけるNPO中間支援機能の強化に係る検討に参画した。
業務内容は次のとおり。

①「とことん知っちゃおう市民活動のこと」研修会開催

- ・期日：平成22年2月13日（土）
- ・会場：エコロジーガーデン交流室
- ・講師：加藤哲夫氏（特）せんだい・みやぎNPOセンター代表理事
- ・参加者数：47名
- ・成果：○最上地域の方々へ市民活動に関する基本的な知識を提供できた。
○活動者の悩みについて丁寧に答えていただき、参加者の満足度が高かった（参加者アンケートより）。
○最上地域で活動している人の顔がわかり、今後の活動連携や活動環境の向上につなげることができた。

②交流懇談会の開催

最上地域の市民活動実践者同士が交流を図る中で情報交換を行い、共に協力連携できる下地をつくった。

自主事業「もがみが動く もがみが変わる 2010」との融合を図った。開催期日と会場は、上記②に同じ。

*担当：伊東、沼野、井上、阿部

IV 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力

<新庄市>・新庄市振興計画審議会委員

- ・新庄市協働評価委員会会長
- ・指定管理者候補選定委員会委員

<最上広域圏事務組合>

- ・指定管理者候補選定委員会委員

<山形県>・やまがた社会貢献基金運営委員会委員

- ・山形県立図書館協議会委員
- ・山形県市町村合併推進審議会委員
- ・山形県まちづくりサポーター

<（財）山形県生涯学習文化財団>

- ・男女共同参画推進県民企画事業審査会審査員

<国土交通省>・最上地区河川懇談会委員

<山形経済同友会>・地域づくりのやまがた景観賞審査会審査員

V 講師等出講

当法人の所属として研修講師をつとめたものの一部を報告する。

■研修名：

◇第61回山形県PTA研修大会最上大会

「家庭・学校・地域とのかかわりの中で育もう、いのち輝く子どもたちを」

- ・主 催：山形県PTA連合会
- ・目 的：いのち輝く子どもたちを育むために、各地でのPTA活動を通してPTAの果たす役割について語り合い、諸課題の解決及びPTA活動の充実と発展に努める
- ・内 容：第1分科会・助言者・ 沼野 慈
- ・テーマ：組織運営「会員の意識を高める組織づくりと活動のしくみ」
- ・期 日：平成21年10月17日（土）
- ・会 場：新庄市民文化会館、雪の里情報館、新庄市民プラザ、
- ・話し合いの視点：①会員が活動しやすい組織と運営の在り方
②地域と連携した組織の在り方
③会員が積極的に参加できる活動のあり方
- ・参加者数：第1分科会 230名

◇「自分の能力を社会にいかす 高校生の今、できること」

- ・主 催：山形県若者就職支援センター
- ・目 的：自分の能力を社会にいかすことや、自分らしく生きることについて考え、自己肯定感を高め、進路意識の高揚を図る（キャリア教育支援）
- ・期 日：平成21年11月30日（月）
- ・会 場：金山高校 1年生30名 教員6名
山形県若者就業支援センター職員2名
- ・参加者数：30名

◇「役立つ自分 自分をいかす」

- ・主 催：山形県若者就業支援センター（キャリア教育講師派遣事業による）
- ・目 的：職業感の醸成
- ・期 日：平成21年11月18日（水）
- ・会 場：鶴岡中央高校 温海校
- ・参加者数：2年生21名

◇「一歩踏み出そう 就職活動ワークショップ」

- ・主 催：山形県若者就業支援センター（キャリア教育講師派遣事業による）
- ・目 的：就職未内定者の自分発見のためのワークショップ
- ・期 日：平成22年2月16日（火）
- ・会 場：金山高校
- ・内 容：就職未内定者向けワークショップ
- ・参加者数：3名

*社会に一步踏み出そうにも、踏み出す社会がない。自分の努力ではどうにもならない社会の現実を卒業以前からつらく思い知らされている。

現代社会は、高校生にとっても非常に厳しい状況になっている。

理解ある家族に囲まれている生徒と家族とけんか状態に置かれている生徒等、さまざまな現状と悲痛な叫びがここにある。

◇金山町 地域づくり 公民館事業

「町づくりにおける女性の役割」

- ・主 催：金山町教育委員会・金山町公民館
- ・目 的：地域活性化に必要な条件、公民館活動などについて学び、次代の人材育成と地域でのコーディネーター育成を図る
- ・期 日：平成22年1月7日～2月4日 連続5回講座
- ・会 場：金山町公民館
- ・参加者数：30名

平成21年度財産目録
平成22年3月31日現在

特定非営利活動法人 NPOもがみ

科 目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	364,996		
流動資産合計		364,996	
2 固定資産			
パソコン一式	8,987		
固定資産合計		8,987	
資産合計			373,983
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	66,641		
預り金	72,255		
流動負債合計		138,896	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			138,896
正味財産			235,087

平成21年度貸借対照表

平成22年3月31日現在

特定非営利活動法人 NPOもがみ

科 目	金額 (単位 : 円)		科 目	金額 (単位 : 円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	0		未払金	66,641	
普通預金	364,996		預り金	72,255	
流動資産合計		364,996	流動負債合計		138,896
2 固定資産			2 固定負債		
パソコン一式	8,987			0	
固定資産合計		8,987	固定負債合計		0
			負債合計		138,896
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	103,187	
			当期正味財産増加額	131,900	
			正味財産合計		235,087
資産合計		373,983	負債及び正味財産合計		373,983

平成21年度収支計算書
平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 NPOもがみ
金額(単位:円)

科 目			
I 経常収入			
1 会費・入会金			
入会金収入			
会費	18,000		
寄付金	30,000	48,000	
2 事業収入			
1) 自主事業			
NPO中間支援機能強化推進事業	35,000		
もがみが動く もがみが変わる2009	43,000		
市民活動フェスタ	8,560		
2) 受託事業			
地域づくり支援事業	2,439,000		
NPOアドバイザー派遣事業	3,405,000	5,930,560	
3 雑収入			
1) 受取利息	357	357	
経常収入合計			5,978,917
II 経常支出			
1 事業費			
1) 自主事業			
市民活動フェスタ	490		
2) 受託事業			
地域づくり支援事業	2,439,227		
NPOアドバイザー派遣事業	3,405,010	5,844,727	
2 一般管理費			
役員報酬	0		
給料	0		
福利厚生費	0		
旅費交通費	0		
通信費	0		
印刷消耗品費	44		
賃借料	0		
水道光熱費	0		
諸謝金	0		
減価償却費	2,246		
雑費	0	2,290	
経常支出合計			5,847,017
経常収支差額			131,900
III その他資金収入の部			
固定資産売却収入			
借入金			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
固定資産購入			
借入金返済			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			131,900
前期繰越収支差額			103,187
次期繰越収支差額			235,087

平成21年度において役員であったことのある者全員の名簿
およびそのうち平成21年度において報酬を受けたことがある者全員の名簿

特定非営利活動法人

N P O も が み

役職	氏名	住所または居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	沼野 慈		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし
副理事長	阿部 彰		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし
理事	井上 亘		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし
理事	菅 信也		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし
理事	田澤 賢一		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし
監事	永井 敏行		平成21年4月1日 ~22年3月31日	なし

社員のうち10人以上の者の名簿

平成22年3月31日 現在

特定非営利活動法人

NPOもがみ

NPOもがみ 会員名簿

会 員 氏 名	住 所 または 居 所	電 話
1 沼 野 慈		
2 阿 部 彰		
3 井 上 亘		
4 菅 信 也		
5 田 澤 賢 一		
6 永 井 敏 行		
7 小 松 伸 也		
8 伊 東 シゲ子		
9 白 倉 祐 一		
10 柴 田 悟		
11 長 沢 淳 子		
12 工 藤 浩 三		
	以下 空白	